

市議会議員 高橋あこの実績

高橋あこは市議会議員の2期6年の間、
たくさんの市民の声を受け止めてこれらを政策にして実現しました。

以下に主な実績を掲載します。

子ども 子育て 支援

兄弟姉妹が同じ保育園に通えるような仕組みづくりを提言し、実現。公立幼稚園の3歳児（年少）定員の増加にも貢献。学校運営費の予算増額によりPTA費等の学校運営費への流用削減に貢献。中学校入学準備（制服、体操服、カバン等）費用削減を提案。保育士や放課後児童クラブ支援員の待遇改善。不登校児童生徒のための教育支援センターの年齢制限撤廃。不登校児童生徒へのオンラインでの支援実施。

新型コロナ ウイルス 感染症 緊急対策

各事業の効果検証を提言し、効率的な事業管理による費用対効果の向上につなげる。自宅療養のコロナ感染者への支援（食料、衛生用品、パルスオキシメーター等の提供）は当初は兵庫県が行うものとされていたが、県の人手不足の実態を把握し、伊丹市が独自に実施することを提案し、実現。

地球 温暖化 対策

ゼロカーボンシティ宣言（2050年までに二酸化炭素などの温室効果ガス排出量を実質ゼロにすることを旨とする）を提案し、実現。

DX 推進

システム・エンジニアの経験を活かして、市役所新庁舎建て替えに合わせて、市役所業務のデジタル・トランスフォーメーション（DX）の推進を提言。



高橋あこプロフィール

1978年11月生まれ

王たるキリスト幼稚園、伊丹市立笹原小、神戸海星女子学院中・高、
神戸女学院大文学部英文学科卒

システム・エンジニア（SE）として民間企業に勤務、10年の専業主婦を経て、

2019年の伊丹市議会議員選挙にてトップで初当選。現在、2期目。

趣味はダンス、漫画（キングダム、ベルサイユのばら）、短歌。

得意料理は唐揚げ。家族は夫と4児（二男二女）。



高橋あこ

4児の母

やさしい街を、
私たちはつくりたい。



重点

5

項目

子ども・若者・
高齢者の
居場所づくり

放課後子ども教室や高齢者
サロンなど様々な人が交流
できる居場所をつくり、誰
一人取り残しません！

給食・部活動の
保護者負担軽減

部活動の地域移行に合わせ
て部活動費保護者負担を軽
減し、子育てを応援します！

市バスの高齢者
無料パスの継続

鉄道空白地が多い伊丹市。
高齢者が活発に外出しやす
くすることで、健康づくりを
応援します！

物価高緊急対策

困っている「今」にすぐに
寄り添う具体的市政を！

市長と語る会
（毎月実施）

「どうせ言うても変わらへん」
そんな思いはさせません。
住民参加によるまちづくりを
進め、あたたかな市政を
目指します！

高橋あこの

相 心

伊丹市議会議員になる7年前に幼稚園、保育所の再編問題が起こりました。

私は、ママ友とつながり合い、みんなと一緒にこの問題に正面から取り組み出しました。

統廃合反対署名を23,000筆ほど集め、当局、市議会に示しましたが、計画は進められました。

どうしたら解決できるのか。出した結論は私が市議会議員になることでした。



とにかく聞く。調べる。学ぶ。実行する。

専業主婦から初めての市議選でしたが、3,286票でトップ当選しました。

議員生活では、多くの人の声を行政に届けるという信条のもと、多くの人の悩みを聞いてまいりました。非・正規市職員の勤務条件、医療従事者の勤務環境、児童クラブ支援員の配置、子どもたちの遊び場確保、不登校の悩み、DV被害の避難先探し、高齢者を介護する家族の悩みなど様々でした。それを一つ一つ、政策にまとめて市当局に届けてきました。

一人ひとりにはそれぞれの歴史、状況、価値観があり、具体的な意見が合わないことも少なくありません。

それでも、一人ひとりが、市全体のためという共通理解のもと意見を受け入れることで、新たな答えを見出すことができると考えています。

賛成も反対も大切にする。



実行しなければ、解決しない。

制度や予算配分を見直せば、社会的弱者と言われている人、また、行政の枠からこぼれ落ちたさまざまな人たちの声を救い上げられます。

そして、あたたかい伊丹のまちをみんなで創り上げたい。そうした社会での生活は、みんなが幸せになる社会であり、まちの活力にもつながると信じています。

残された課題、新たに発生する課題を解決するべく、未来に繋げていかなければなりません。

それが、次の世代への責任であると考えています。

私は、市議時代から一貫して「誰ひとり取り残されない政治」を政治姿勢としてきました。今後もこれを堅持し、「市民主権」のもと、市民/市職員みんなの知恵と力を得て一丸となり、

粉骨砕身、市政を前に前に進めます。



みんなのことを、みんなで決める！
市民参加でつくる 未来の伊丹！

みんなにやさしいまち

子どもにやさしいまちは、みんなにやさしいまちです。児童生徒の一人ひとりの個性を踏まえつつ、一人ひとりの可能性を最大限に引き出す教育を行います。世代の垣根を越えて交流できるようにすることで、子どもには学びを、高齢者には活気と潤いが生まれます。

子どもの権利条例の制定/子どもの声を聞き、是正措置要請や意見表明ができる第三者機関の設置/子どもの貧困からの脱却(養育費立て替え、子ども食堂支援)/子どもや青少年の居場所づくり(放課後子ども教室、ユースセンター設置)/中学校部活動費の支援/学校給食費無償化/不登校児童生徒への支援/市バス無料バスの継続/認知症、独居高齢者への支援体制強化/高齢者の健康支援(街角にベンチ設置)/高齢者の社交場づくり(だんらんの場)

みんなに豊かなまち

まちのにぎわいと文化・スポーツを振興してみんなの暮らしを豊かにします。

アートフェス、音楽イベント、演劇公演の充実/市民参加型文化イベントの増大/スポーツ活動の振興/クリエイティブ産業の育成(文化芸術を軸にした経済の活性化、交流人口の増加)/中小企業の支援充実/自転車、徒歩で楽しめるまちづくり/都市農業の発展と継続/男性の生きる講座開設(子育て、介護、健康、人の輪づくり、料理など)/人権尊重、多文化共生社会の推進/航空機騒音の被害低減化の取り組み継続/空港を活用した街の活性化/行政多分野にわたる近隣他市町との連携強化

みんなが安心できるまち

いざというときに頼りになるまちをつくりまします。とくに、市立伊丹病院を中心に安定した医療・介護の体制を整えます。また、万全の災害対策で市民の安全安心を確保します。

障がい者の自立支援と社会参加の促進/福祉分野の従事者待遇改善/市立保育所、幼稚園、放課後児童クラブの公営維持/ゼロカーボン政策の推進/まちの緑化推進/食の安全の取り組み/市立伊丹病院の運営確立(地域医療連携の強化、公営維持、経営健全化)/近畿中央病院跡地への回復期機能病院の誘致/市バスの公営維持/災害対策の強化

みんなの声でつくるまち

まちづくりの主役は市民です。住民の理解と納得の下で、あたたかな市政をめざします。

市長ホットラインの創設(市長直轄の組織が市民の困りごとに寄り添う)/市長と語る会の毎月開催/住民参加型の予算導入、行財政改革の実施/コミュニティ活動の支援/地域活動拠点施設の充実/住民とともに取り組むJR伊丹駅前のまちづくり